

中小企業景況調査報告書

2020年10～12月期実績

2021年1～3月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。

調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

(1) 調査対象時期等

①調査対象時期：2020年10～12月期の実績(12月見込)2021年1～3月期見通し

②調査期間：2020年11月4日～11月15日 ※調査時点は2020年11月15日

(2) 調査方法

①商工会の経営指導員等による訪問面接調査

②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

(3) 調査対象商工会

①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別枝幸町、安平町、大樹町、広尾町

②人口10,000～29,999人・・・七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、釧路町、別海町

③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	51	50	98.0%	小売業	90	84	93.3%
建設業	48	46	95.8%	サービス業	111	107	96.4%
				合計	300	287	95.7%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

(5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。

例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は $50-20=+$ 30となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期 比				今 期 比	
	今期	来期見込	R1. 10-12	R2. 1-3	R2. 4-6	R2. 7-9	今期	来期見込
製造業	▲ 36.7	▲ 32.7	▲ 12.7	▲ 32.6	▲ 52.1	▲ 24.5	▲ 22.9	▲ 31.2
建設業	▲ 11.1	▲ 27.3	▲ 2.3	▲ 19.5	▲ 13.3	▲ 12.8	▲ 7.0	▲ 37.0
小売業	▲ 54.7	▲ 52.4	▲ 36.2	▲ 46.6	▲ 56.1	▲ 54.1	▲ 32.0	▲ 39.2
サービス業	▲ 52.0	▲ 55.8	▲ 23.7	▲ 37.8	▲ 70.0	▲ 31.0	▲ 40.3	▲ 44.5

3. 北海道内商工会地域の状況

製 造 業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R2. 1-3	R2. 4-6	R2. 7-9	今期	来期見込
業況	好転した	8.2	4.3	11.6	2.2	13.3	10.4	4.2
	不 変	46.9	58.7	44.2	43.5	48.9	56.3	60.4
	悪化した	44.9	37.0	44.2	54.3	37.8	33.3	35.4
	D・I	▲ 36.7	▲ 32.7	▲ 32.6	▲ 52.1	▲ 24.5	▲ 22.9	▲ 31.2
売上(加工)額	増加した	8.0	8.0	15.2	18.8	29.2	22.4	
	不 変	36.0	48.0	21.7	27.1	27.1	38.8	
	減少した	56.0	44.0	63.1	54.1	43.7	38.8	
	D・I	▲ 48.0	▲ 36.0	▲ 47.9	▲ 35.3	▲ 14.5	▲ 16.4	
資金繰り	好転した	4.2	2.1	6.8	0.0	4.3	2.1	
	不 変	66.6	68.7	68.2	52.2	63.1	78.8	
	悪化した	29.2	29.2	25.0	47.8	32.6	19.1	
	D・I	▲ 25.0	▲ 27.1	▲ 18.2	▲ 47.8	▲ 28.3	▲ 17.0	
原材料仕入単価	上昇した	26.5	16.3					
	不 変	71.5	79.6					
	低下した	2.0	4.1					
	D・I	24.5	12.2					
採算(経常利益)	好転した	4.0	2.0					
	不 変	48.0	54.0					
	悪化した	48.0	44.0					
	D・I	▲ 44.0	▲ 42.0					

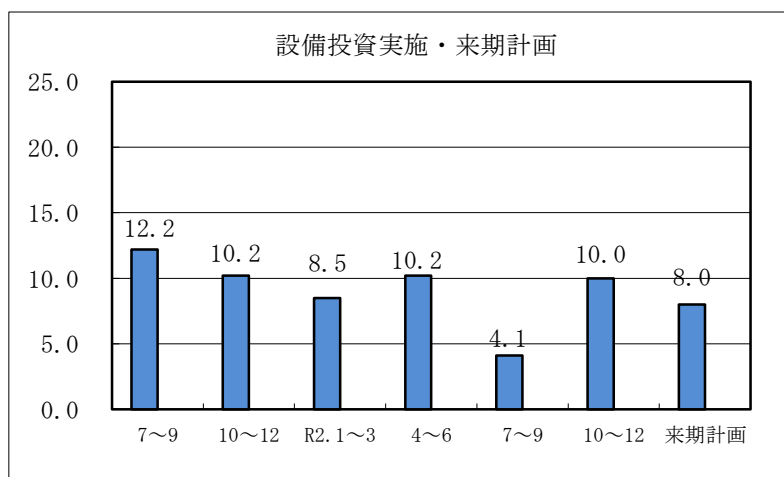
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答50事業所の内、5事業所(10.0%)が実施。●生産設備=3事業所、●付帯施設=2事業所、●土地、工場建物、OA機器=各1事業所

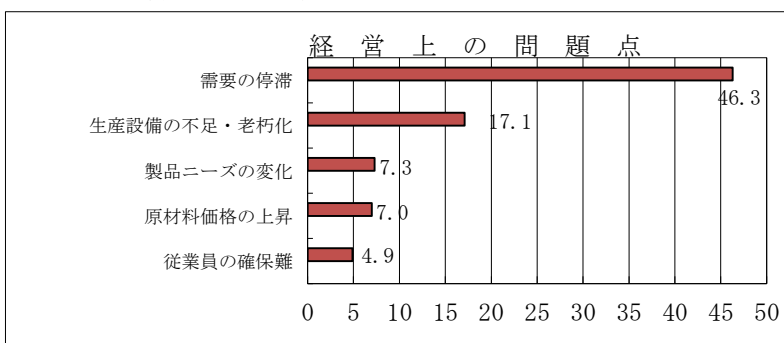
【来期計画内容】

回答50事業所の内、来期に4事業所(8.0%)が計画。
●生産設備=4事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回同様「需要の停滞」で前回より6.8ポイント増加した。2位も前回同様「生産設備の不足・老朽化」だが5.6ポイント減少した。3位は前回番外の「製品ニーズの変化」で2.6ポイント増加した。4位は前回5位の「原材料価格の上昇」で2.3ポイント増加した。5位は前回番外の「従業員の確保難」で0.2ポイント増加だった。また、前回3位の「人件費に増加」と4位「その他」はともに番外となった。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R2. 1-3	R2. 4-6	R2. 7-9	今期	来期見込
業況	好転した	6.7	0.0	12.2	6.7	10.6	9.3	4.3
	不変	75.5	72.7	56.1	73.3	66.0	74.4	54.4
	悪化した	17.8	27.3	31.7	20.0	23.4	16.3	41.3
	D・I	▲ 11.1	▲ 27.3	▲ 19.5	▲ 13.3	▲ 12.8	▲ 7.0	▲ 37.0
完成工事 (請負工 事) 額	増加した	26.1	10.9	11.9	31.1	36.2	28.3	
	不変	47.8	47.8	47.6	31.1	34.0	41.3	
	減少した	26.1	41.3	40.5	37.8	29.8	30.4	
	D・I	0.0	▲ 30.4	▲ 28.6	▲ 6.7	6.4	▲ 2.1	
資金繰り	好転した	8.9	4.4	7.1	6.8	13.0	6.7	
	不変	80.0	80.0	85.8	72.7	74.0	80.0	
	悪化した	11.1	15.6	7.1	20.5	13.0	13.3	
	D・I	▲ 2.2	▲ 11.2	0.0	▲ 13.7	0.0	▲ 6.6	
材 料 仕入単価	上昇した	28.9	28.9					
	不変	71.1	71.1					
	低下した	0.0	0.0					
	D・I	28.9	28.9					
採算(経 常利益)	好転した	6.5	0.0					
	不変	73.9	73.9					
	悪化した	19.6	26.1					
	D・I	▲ 13.1	▲ 26.1					

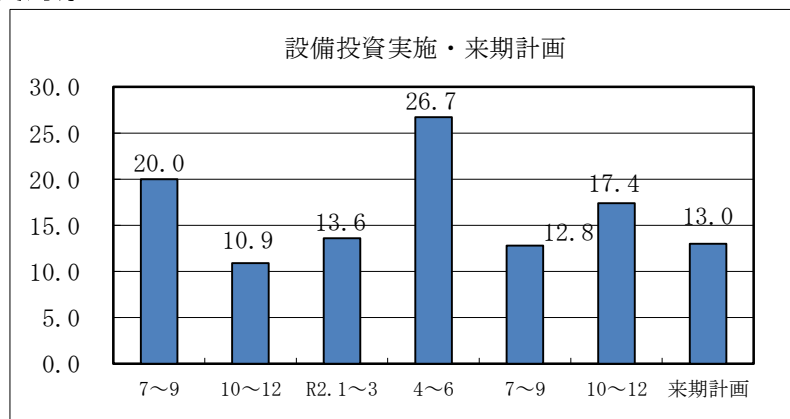
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答46事業所の内、8事業所(17.4%)が実施。●OA機器=3事業所、●土地、建物、建設機械=各2事業所、●車両・運搬具=1事業所

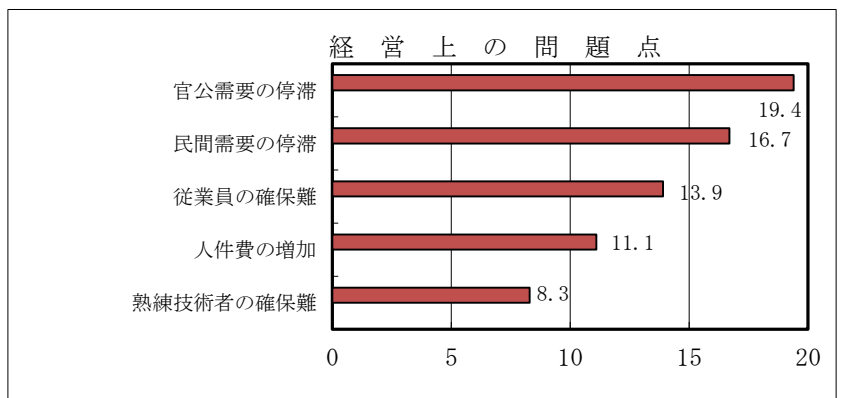
【来期計画内容】

回答46事業所の内、来期は6事業所(13.0%)が計画。●土地=3事業所、●建物、建設機械=各2事業所、●OA機器=1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回同様「官公需要の停滞」だったが前回より1.1ポイント減少した。2位は前回4位の「民間需要の停滞」で6.4ポイント増加した。3位は前回2位の「従業員の確保難」で4ポイント減少した。4位は「人件費の増加」で前回5位から3.4ポイント増加した。5位は「熟練技術者の確保難」で前回2位から9.6ポイントの減少であった。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R2. 1-3	R2. 4-6	R2. 7-9	今期	来期見込
業 況	好転した	4.8	3.7	6.7	3.8	0.0	6.7	5.1
	不 変	35.7	40.2	40.0	36.3	45.9	54.6	50.6
	悪化した	59.5	56.1	53.3	59.9	54.1	38.7	44.3
	D・I	▲ 54.7	▲ 52.4	▲ 46.6	▲ 56.1	▲ 54.1	▲ 32.0	▲ 39.2
売上額	増加した	11.9	6.0	13.3	10.8	21.7	18.3	
	不 変	23.8	32.1	26.7	34.9	34.9	40.2	
	減少した	64.3	61.9	60.0	54.3	43.4	41.5	
	D・I	▲ 52.4	▲ 55.9	▲ 46.7	▲ 43.5	▲ 21.7	▲ 23.2	
資金繰り	好転した	2.4	3.6	2.7	0.0	0.0	4.9	
	不 変	57.1	53.5	56.8	59.8	68.3	74.4	
	悪化した	40.5	42.9	40.5	40.2	31.7	20.7	
	D・I	▲ 38.1	▲ 39.3	▲ 37.8	▲ 40.2	▲ 31.7	▲ 15.8	
商 品 仕入単価	上昇した	28.6	20.2					
	不 変	67.8	73.8					
	低下した	3.6	6.0					
	D・I	25.0	14.2					
採算(経 常利益)	好転した	4.8	3.6					
	不 変	42.9	45.2					
	悪化した	52.3	51.2					
	D・I	▲ 47.5	▲ 47.6					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

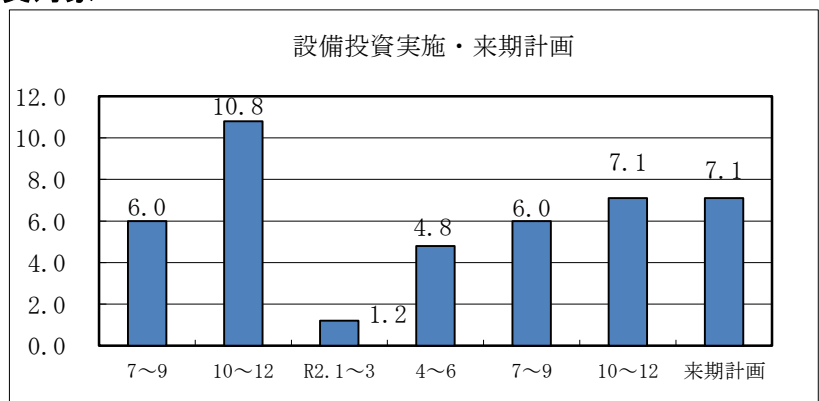
回答84事業所の内、6事業所(7.1%)が実施。

●車両・運搬具=2事業所、●土地、販売設備、付帯施設、OA機器、その他=各1事業所

【来期計画内容】

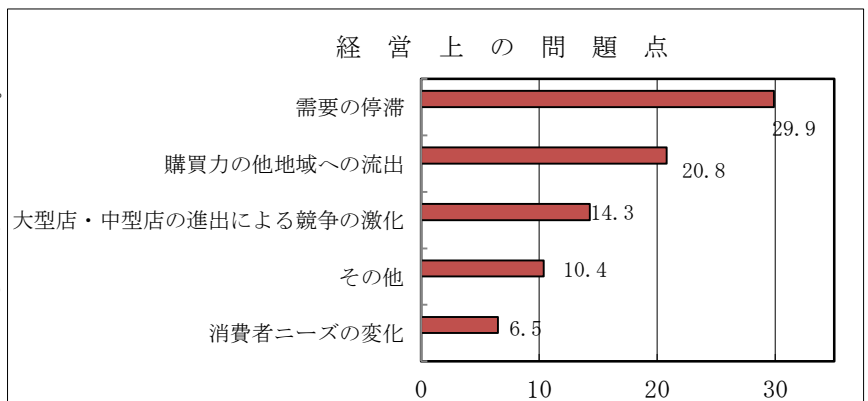
回答84事業所の内、来期は6事業所(7.1%)が計画。

●販売設備、車両・運搬具、OA機器=各2事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

今回の1位も「需要の停滞」であったが前回から0.6ポイント減少した。2位も前回と同じく「購買力の他地域への流出」だったが、前回から8.5ポイント減少した。3位も前回同様「大型店・中型店の進出による競争の激化」でこちらは1.0ポイント増加した。4位は前回5位の「その他」で2.4ポイントの増加であった。内容は新型コロナウイルスの影響であった。5位は前回4位の「消費者ニーズの変化」で前回より2.8ポイント減少した。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R2. 1-3	R2. 4-6	R2. 7-9	今期	来期見込
業況	好転した	3.8	0.0	4.4	0.0	15.0	7.1	1.0
	不 変	40.4	44.2	53.4	30.0	39.0	45.5	53.5
	悪化した	55.8	55.8	42.2	70.0	46.0	47.4	45.5
	D・I	▲ 52.0	▲ 55.8	▲ 37.8	▲ 70.0	▲ 31.0	▲ 40.3	▲ 44.5
売上(収入)額	増加した	14.0	3.8	10.3	3.7	26.4	12.1	
	不 変	24.3	34.0	36.1	19.6	30.2	38.3	
	減少した	61.7	62.2	53.6	76.7	43.4	49.6	
	D・I	▲ 47.7	▲ 58.4	▲ 43.3	▲ 73.0	▲ 17.0	▲ 37.5	
資金繰り	好転した	1.9	0.0	3.1	0.0	7.8	2.8	
	不 変	54.2	56.1	68.8	48.1	62.1	58.9	
	悪化した	43.9	43.9	28.1	51.9	30.1	38.3	
	D・I	▲ 42.0	▲ 43.9	▲ 25.0	▲ 51.9	▲ 22.3	▲ 35.5	
仕入単価(材料等)	上昇した	5.7	0.0					
	不 変	35.8	42.5					
	低下した	58.5	57.5					
	D・I	▲ 52.8	▲ 57.5					
採算(経常利益)	好転した	5.8	5.8					
	不 変	40.4	45.2					
	悪化した	53.8	49.0					
	D・I	▲ 48.0	▲ 43.2					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

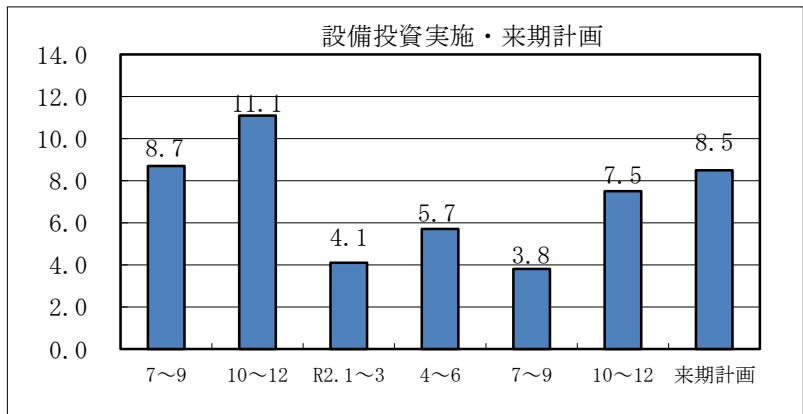
回答106事業所の内、8事業所(7.5%)が実施。

●サービス=4事業所、●車両・運搬具=2事業所、●OA機器、福利厚生施設、その他=各1事業所

【来期計画内容】

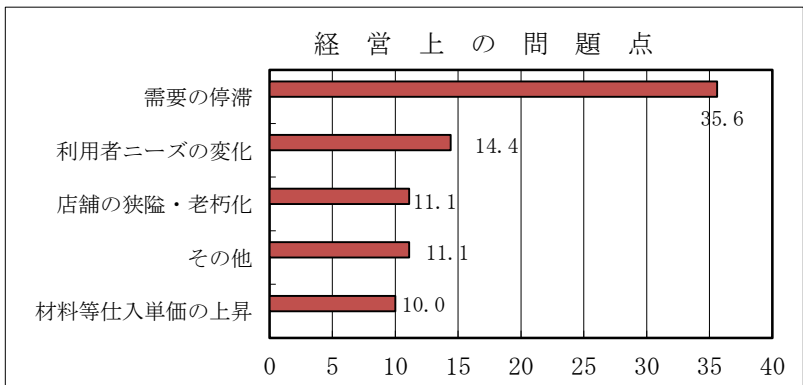
回答106事業所の内、9事業所(8.5%)が計画。

●サービス=4事業所、●OA機器、その他=各2事業所、●建物、付帯施設=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回と同じく「需要の停滞」で3ポイント減少した。2位も前回と同じく「利用者ニーズの変化」だったが3.8ポイント減少した。3位も前回と同じく「店舗施設の狭隘・老朽化」で前回より0.3ポイント減少した。4位は前回5位の「その他」で2.9ポイント増加した。内容は新型コロナウイルスの影響であった。5位は前回番外の「材料等仕入単価の上昇」は5.5ポイント増加した。前回4位の「従業員の確保難」は2.4ポイント減少し番外となった。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

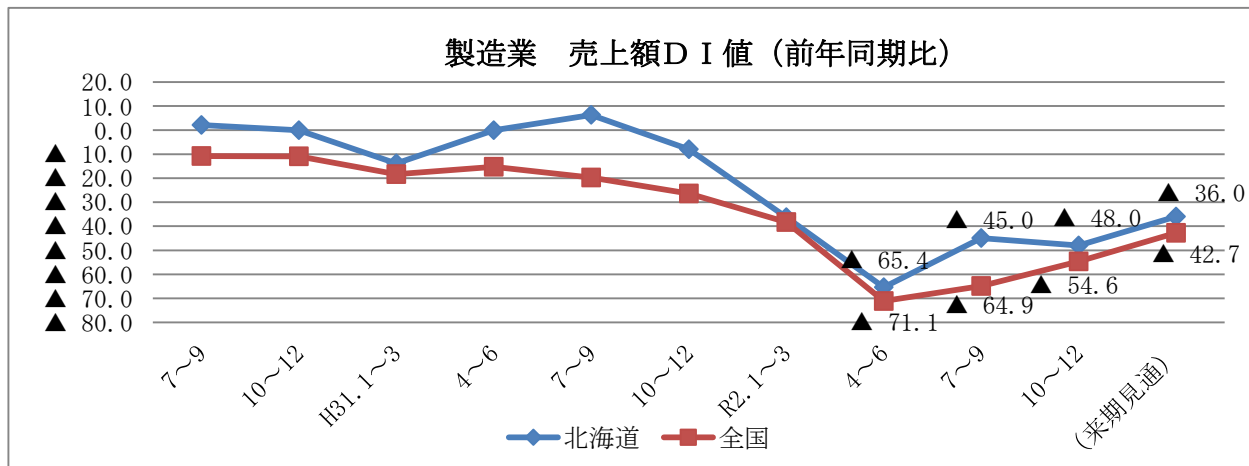
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

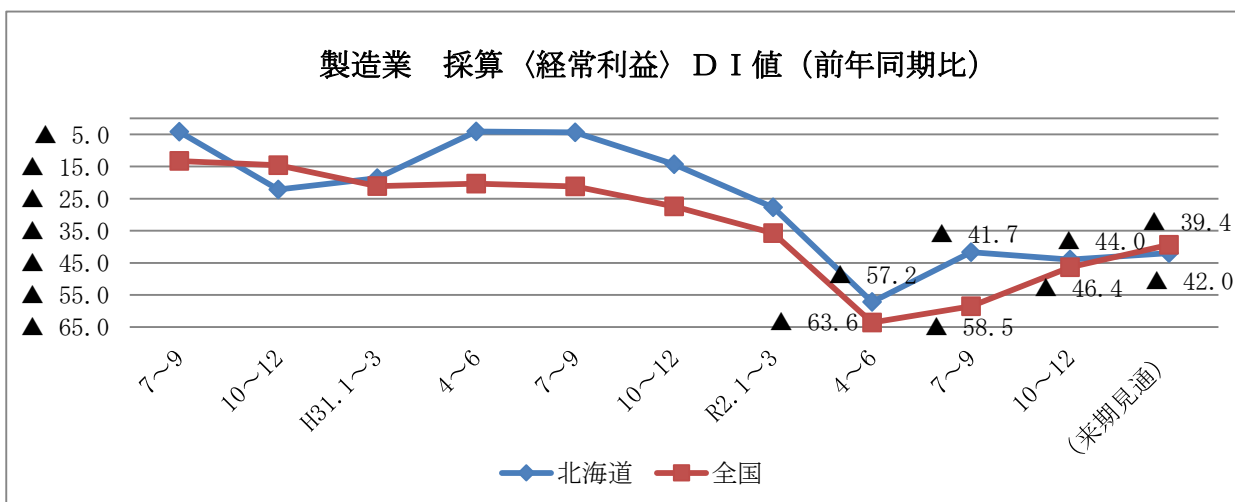
【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

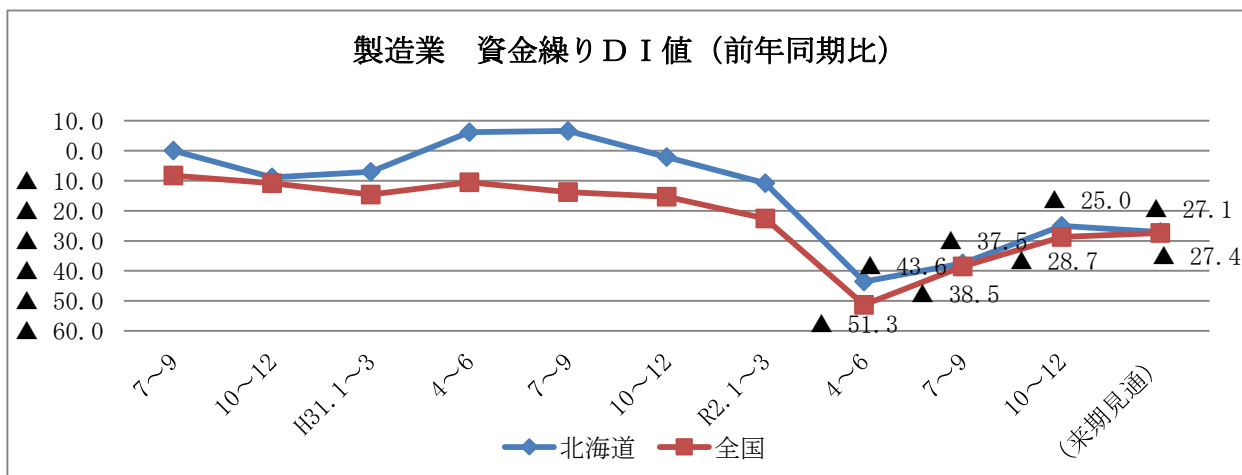
売上額



採算



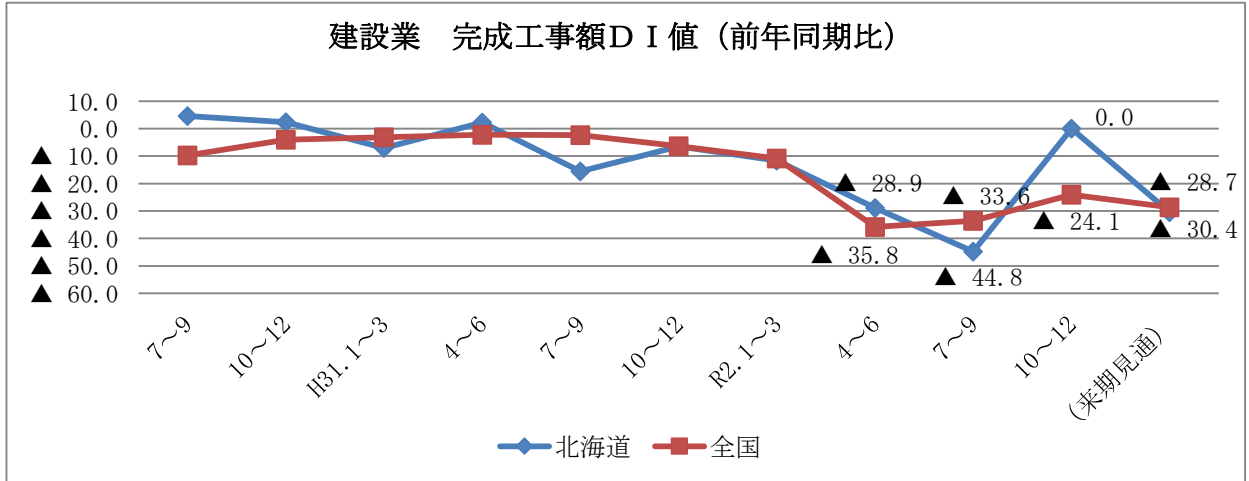
資金繰り



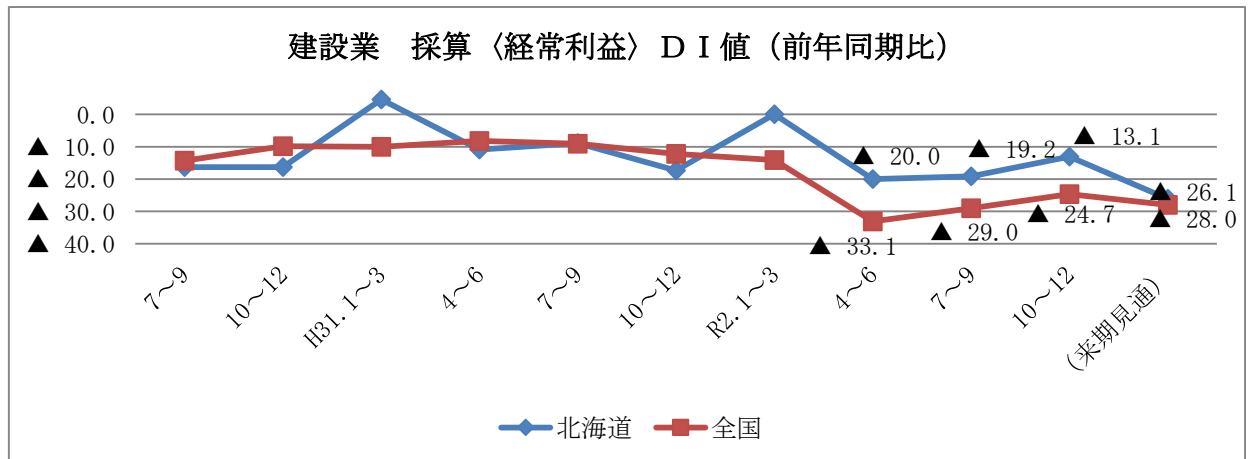
建設業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・上昇、採算▲DI値・・・上昇、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

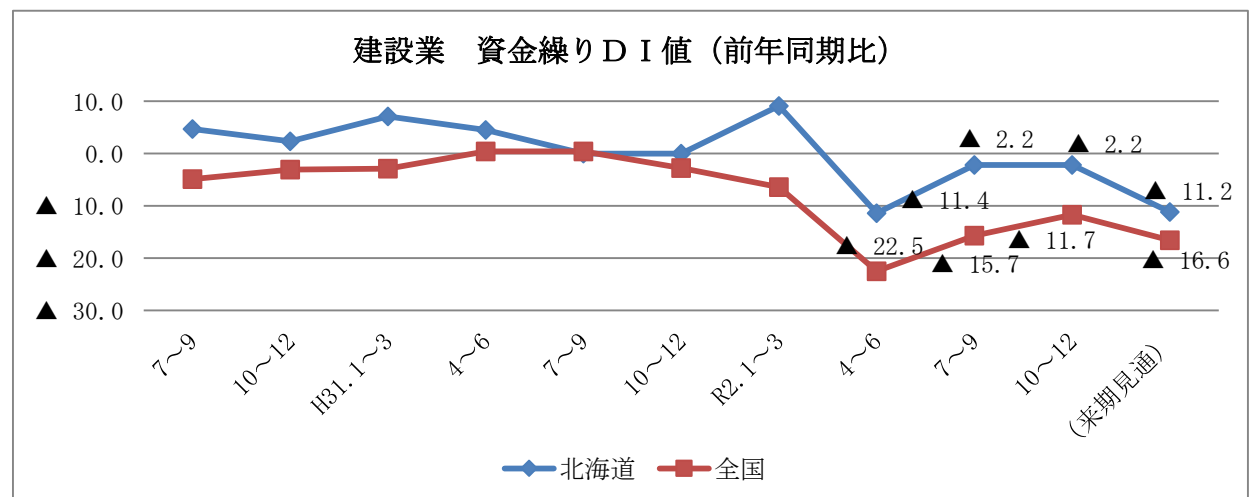
完成工事額



採算



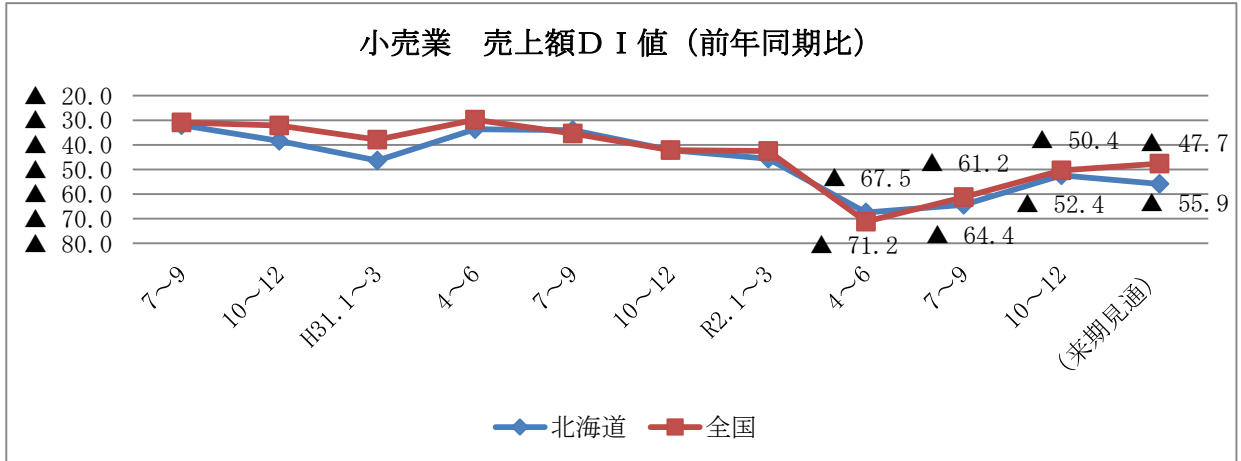
資金繰り



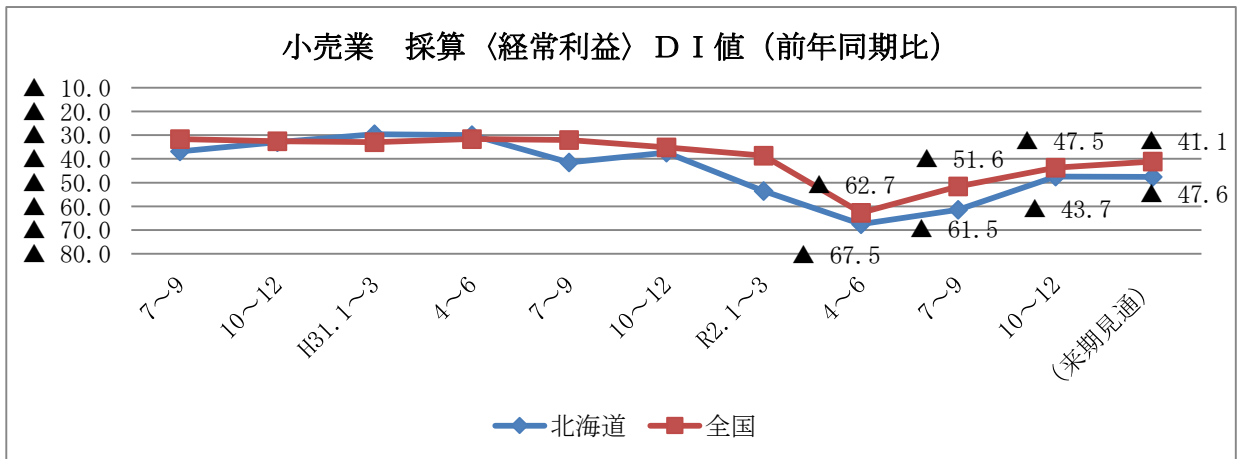
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

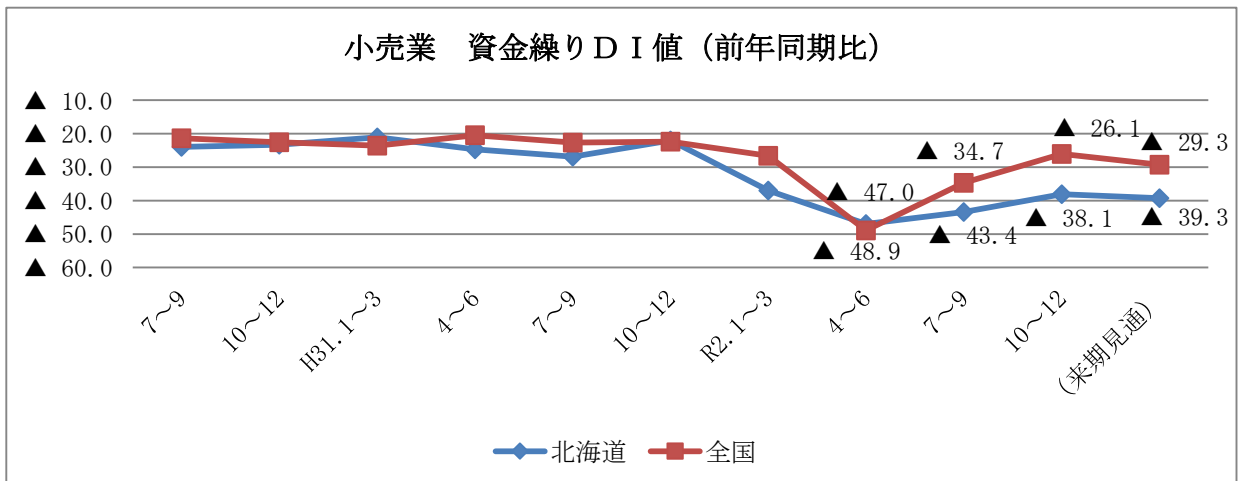
売上額



採算



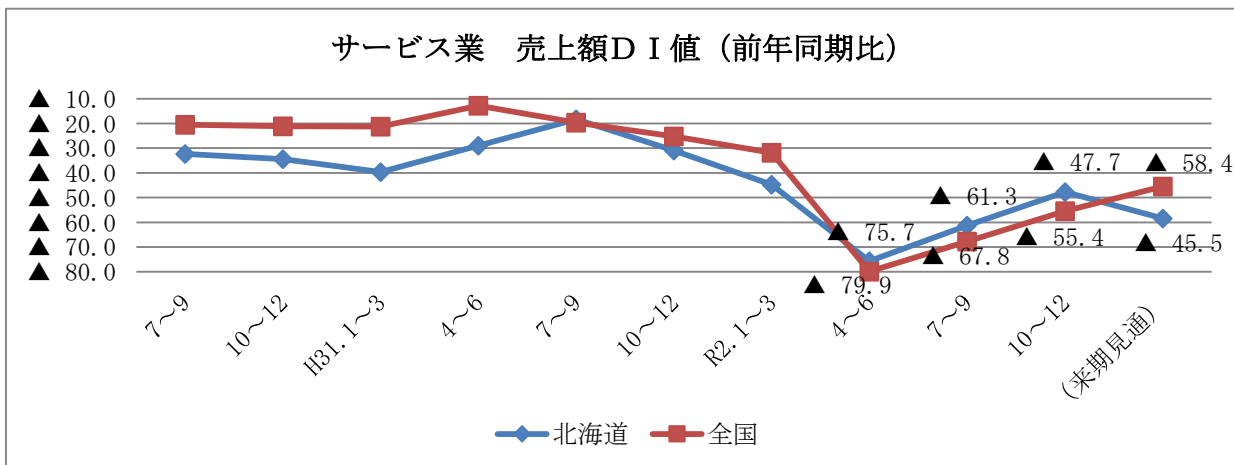
資金繰り



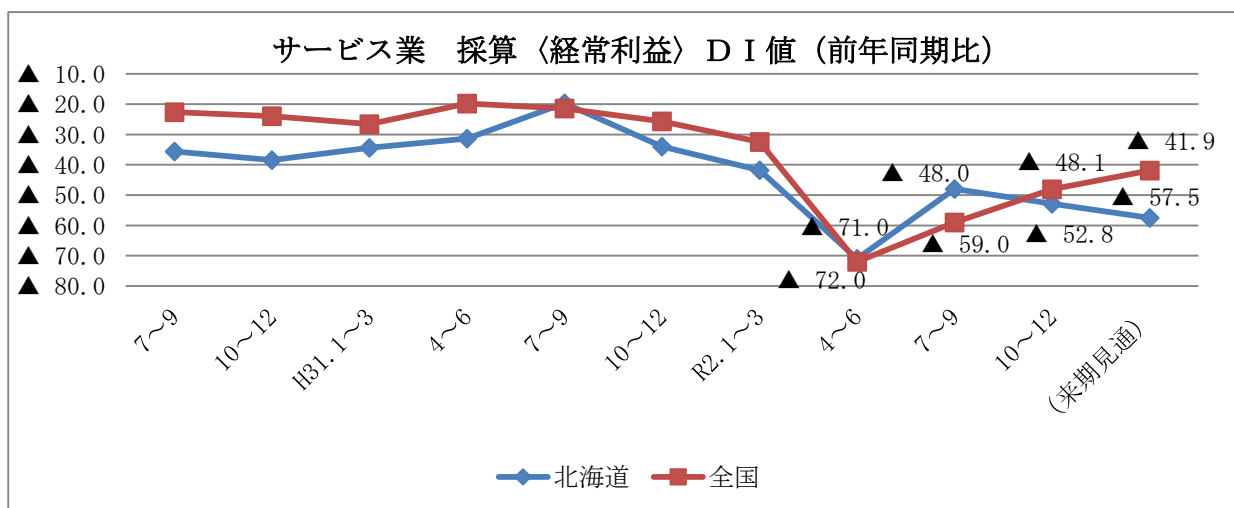
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

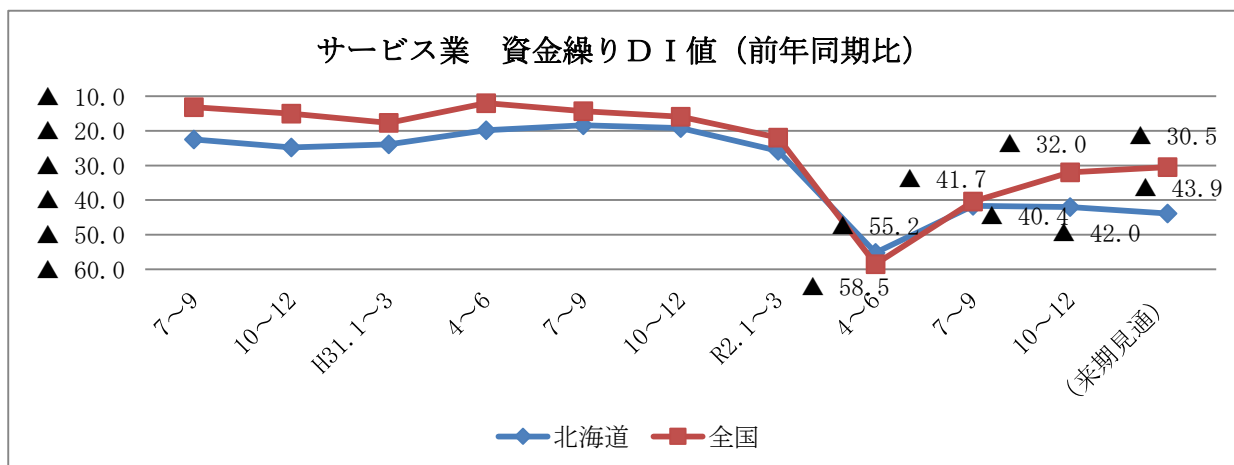
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>●鋼材を加工するためには加工用の機械が必要ですが、弊社にある設備は古い物ばかりで壊れたら部品自体廃版になっている物もあります。設備更新したい所ですが高額なため手が出ません。そのくらいでしょうか。●今年度は、売上の主体である観光地の発注がほぼ0の状態が続き苦戦しているが、レザー市場の需要が少しずつ伸び、安定してきている。少ない人数ながら、仕事をフル稼働させ、経費をかけず現在に至っています。●包材の仕入値が上昇中。問屋の在庫品は安く入るが。●仕入先の方針変更により、掛仕入及び割引が無くなると通知が来ている。(月に50万円以上仕入れないと掛の対象にならない) 実質的な仕入コストアップ(2割)となり影響大。●11月上旬の新型コロナの道内新規感染者数が100人を超えた時点で急激に来客が減った。各催事も中止の上、積雪期でもある。春までは売上増は見込めないだろうと思う。●コロナの状況が長引くと大変になるのではと不安になります。●GoToトラベルキャンペーンの影響はかなりあると感じています。●今年の4月頃には新型コロナウイルスの影響があるかと思われましたが、年末に向け堅調に推移しています。特にプラントなどの補修工事については、例年よりボリュームがあり本年度の売上に大きく影響すると思われています。例年と変わることはなさそう。夏場と比べ冬の時期は注文数減少する。●となりの市にある工場撤退による影響がどれくらい響いてくるか不安です。コロナの影響による、業務系・観光地売店の悪化。●9月・10月はブリが例年より多く水揚げされ、処理料が昨年と同等でしたが、今年はタラが不漁で、昨年11月から1月までの主力でしたが、著しく減少するのが心配です。</p>
建設業	<p>●民間需要の停滞が法人の設備投資に影響を及ぼしています。背景にはサービス業・製造業・小売業等の設備投資の事業計画案に対して、融資が付きにくい等の問題が続いております。仕事量も減少し、苦しい状態です。●コロナ禍の影響は建設業は過少な方ですが、11月以降北海道が増加傾向となっており、建設業に於いても影響が出ると思われ、対策が急務に思われる。●土木工事業の弱点、冬期工事が無いという年度となり季節雇用従業員の働く場が減ってしまうのではないかと不安があります。●コロナの影響下と年度末に向けての工事の先行きにより警戒感は強いが、今の所において当社の直接的な影響はすくないものの、緊急事態宣言の発動や、時間の経過とともに悪化している概況を考えると停滞の兆しとも見える。●昨年12月は特に好調だったため、それと比べると売上は減少するが、例年と大きく変わりはない。●予定外の工事を受注できた為、変動が少なかった。●請負工事の量に対して技術者の量が不足している。求人募集はしているが、問い合わせすら皆無の状況であり、深刻な問題となっている。●コロナ禍の影響が建設業においては来年度に出てくると思われる。公共事業が財政難になり削られると思われるので、官公需要はある程度の減少は頭に入れておく必要があると思われる。停滞感がさらに進むと考えられる。</p>
小売業	<p>●今期はコロナの影響が今後の流行の変動により、予測が付け難く、更に前年の数字が消費税増税後という事もあり判断は難しい。希望を込めた数字です。●10月の売上高が前年並まで回復。コロナにおける様々な施策の効果が表れてきたと感じていたが、今日現在、第3波に突入しており今後の感染状況により、また先行きが不透明になり、再び減少に転じる恐れがある為。●売上減少、客単価減少が続いている。●新型コロナウイルスの解決なくして商売が元に戻ることはあり得ないですし、よしんばもとになっても、このムードから脱却するには、かなりの日数がかかると思います。日数どころか、何年がかりになるのでしょうか…。●コロナが終わらない限り、売上の回復は無理です。●高齢につき、今年度末で廃業を計画中です。(予定)●枝幸港での釣りの禁止による釣り人の減少。●新聞代の値上げで少し利益が上がったが、人口減少で売上が伸びない。●新型コロナウイルス感染の減少がならないため、一向に経済が回復しない。購買力の低下で売上減少が止まらない。●コロナで消費者の購買意欲が低下している。葬儀生花が出ない為、売上が大きく落ち込んだ。生産農家が倒産するなどの影響で仕入単価が上昇してしまった。●コロナにより、不漁の影響が大きく、昨年同期と比較し3割程度減少となる見込み。●新型コロナウイルスにより、お客様の減少、イベントや行事の中止によって食料品等の受注が減少した。●競合店の価格上昇により、自社への乗り換え客が増え、またチラシ折込料などの受注が増えた。●新型コロナの影響で、客数・売上共に減少している状態。年末商戦に向けて不安で仕方ない。忘年会も減るであろうし、飲食店からの注文も減少するであろう。例年だと秋のイベントが多かったので、それもすべて中止でした。●コロナ禍による、消費意欲の低下。●コロナの長期化により従業員の雇用確保及び再開時期についての明確な判断がなく、特裁に対しての営業などでどの程度活発に活動して良いかが分からず、商談が進められない場面が多々ある。</p>

●コロナ禍で来店サイクルが延びて売上が上がらない。ただ、予約優先で営業しているので、お客さんが重ならない為、安心感はある。●コロナウイルスの影響がまだしばらく続きそうなので会社の業績も落ち込む一方です。●今は3人で働いていたのですが、これからずっと2人なので売上が落ちるのは当たり前で、もちろんコロナのせいでもあるが、仕入値も高くやりくりが大変なのは確かでもあります。●11月はタイヤ交換をメインに他の仕事も多くなり、例年と変わらない様子。コロナが増えてきて、もし会社の誰かが感染したらと思うと怖いので予防対策をしっかりやりたい。●コロナで今後は厳しくなると思う。●教育旅行実施時期の変更や各キャンペーン効果で9～10月期の状況は好転したが、今後もコロナ禍による景況悪化は続く予想され、廃業の存続の為の対策を考えなければならない。●コロナの中よく頑張っていると思う。●コロナの影響が今後どこまでなかわからないところ。来期来年はもっと悪化するという不安。●コロナの影響は少なくとも続いているパーマやカラーなど長時間の施術に対して来店することに緊張感を感じる。髪は伸びるから切りたい。でもパーマやカラーは少しやめておこうと必要性が薄れている。●売上が激減。コロナだけの影響ではないが、何かしらの対策が必要。給付金を受け取ったが収支赤字のためいつまで保てるか不安。●新聞販売業を始め、事業引継ぎのためのコストはかかったが、売上が増加するため、来期から業況は良くなると考えているが、配達員の確保が今後の課題となっている。●地域のお客の高齢化に伴い、転出、新型コロナへの注意による外出自粛、また毎週の介護施設への訪問理容がこの状況下で中止となり業況悪化に感じる。●業況は好転していても、掛回収までの日数が2ヶ月以上要すると、一時的に資金繰りが悪化する。今期のようなケースは稀ではありますが、まだ借入難度が低いので特段問題ない。●だんだん景気が悪くなっていくように感じます。何せコロナウイルスを注意しなければなりません。●コロナウイルス等の影響から長期休業しており、再び営業を開始できるのは来年の3月頃と考えている。●コロナの影響もあり、前年より大幅な収支の減少が起き、業績も悪くなっている。●当初はコロナウイルスの影響は受けているものの経常利益に大きな影響は受けていない。この先もコロナ感染拡大し、少しずつではあるが売上の減少が予想される為、対策を講じる必要がある。●単価の高いパーマの利用者が減った。外出自粛に伴い、おしゃれをする機会がすくなくなっただけかと考えられる。●コロナの影響は依然として変わらず、法要や大人数での会食等がない。●コロナにより、利用客の減少が大きく、売上が減少している。●コロナウイルスの影響により、在宅が増え洋服を着る機会が減少し、客数が減り売上が減った。●新型コロナによる影響から徐々に回復していたが、第3波の気配が見られるため不安である。●今後のコロナの状況次第によっては、店舗維持が困難になることが予想される。具体的な政府の対策が必要と考える。●理容業は比較的景気に左右されにくい。●コロナ？不景気、自店の責任？どちらにしても客足が遠のいている様です。この先何が心配かって従業員の給与が満度にしてあげられるのか心配です。従業員あつての商売です。大事にしていきたいので早い回復を願っています。●コロナの影響で施設利用の数が減っています。●今は、新型コロナウイルスの影響が大きく、全く先の読めない状況で、資金繰りしながら過ごすだけです。●コロナの影響でお客様の来店回数の減少が続いている。少ないながらも安定していた来客数もコロナの第2波の影響で減少傾向にある。1日も早いコロナの終息を願っている。店舗施設の老朽化は人口減が一番大きいと思う。●今年はコロナ禍の中予想できない状況ではあるが、まだ少しは恵まれていたのかな？とは思いますが全ての企業に於いて悪化は当然なのかも？今はガマンの時期！すべては末期に目を向けて！●カラオケ店の収支が、客数の減少の為売上が伸びず、全体的な赤字となっている。早い終息を願う。